

あさのだより

平成24年10月1日発行

第150号



社会福祉法人 北九州精神保健福祉事業協会
北九州市立 浅野社会復帰センター
発行・編集
〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目16番38号
北九州市立浅野社会復帰センター
TEL:093-531-3823・093-513-2570 FAX093-513-2571
ホームページアドレス <http://www.asanocenter.jp>
Eメールアドレス ascmain@asanocenter.jp

第7回北九州市精神障害者 バレーボール大会に出場しました。

一昨年の夏からスポーツ活動の中でソフトバレーに取り組んできました。これまでは人数が集まらずチームを作ることすらできませんでしたが、徐々に活動に参加する人数も増え、今年やっと目標にしていた大会に出場することができました。

チーム名は、キャプテンが考えた“浅野レインボーズ”。大会までの一か月は、日頃の作業や実習に加え、強化練習を行いました。体力的にも精神的にもつらい練習が続きましたが、チーム皆で“まずは一勝しよう”と目標を掲げ練習に励みました。

そして当日、初めての大会出場ということもあり、選手も職員も緊張していました。そんな緊張をほぐしてくれたのは、浅野センターを利用している方々の大きな声援でした。

いざ、試合が始まると周囲の大きな声援に後押しされ、練習以上の成果を発揮して、3セット目まで行った接戦を見事に勝ち取りました。2試合目で惜しくも負けてしまい、準決勝には進めませんでしたが、目標としていた一勝ができたこと、チーム一丸となって戦うことができ良い思い出になりました。これからは、浅野レインボーズとして、もっともっと強くなれるよう練習に励んでいきたいと思えます。

秋と言えば食欲の秋、栗がおいしい季節ですね。実は栗も、果物の一つだそうです。それを知った時は驚きました。それはさておき、栗の種はどこにあるのでしょうか？



栗の種はトゲトゲのイガを割って、殻をむいた中身、つまりいつも食べている部分が「種」なんです。ちなみに、殻が「果実」にあたり、イガは「皮」にあたるといいます。

浅野社会復帰センター ピアサポーター活動の取り組みについて

平成23年1月にピアサポーター養成講座を開き、ピアサポート活動が始まりました。その活動を紹介すると共に、今回はピアサポーターご自身に活動を振り返って頂き、感想を語って頂きました。

○ピアサポーターって何？

同じ障害をもつ人にしか分からない思いや悩みを分かち合い、お互いに助け合うことにより、自立していく支援のことです。

○活動の目的は？

精神疾患により長期にわたって入院されている患者の皆さんに、**退院後の地域での生活をイメージ**して頂き、退院に結びつけていこう、というものです。

具体的なピアサポーターの活動は…

体験談の発表

病院内で学習会を開催し、入院時～退院後までの体験談を発表します。

外出同行

公共交通機関を実際に使う等、外出に慣れるための練習に同行します。

不安の軽減

入院生活が長い方ほど、退院への不安は大きくなりがちです。そこで、同じ精神科の疾患を持ち、気持ちに寄り添うことができるピアサポーターと交流を持つ事で、不安の軽減に役立てます。

そんな大切な役割を担うピアサポーターには、研修を通じて資質向上にも力を入れて頂いております。月に1度は、ミーティングを行い、コミュニケーション技法や、基礎的な対人関係理解、そして、活動の振り返りを行ってきました。

今回は、ピアサポーターにご自身の活動を振り返って感想を語って頂きました。

最初は私たちの話しにどれだけ興味をもってくれるだろうかという事が全然つかめず、手探りの状態だった。精神科病院の学習会に参加された患者の皆さんは話をよく聞いてくれた。質問する方もいて全体的に充実していた。聞いている方の中には退院しようかと迷っている方も多かったので、退院を後押しして自信を持たせることが必要だと思った。体験談を語る意味は自分のためではなく、患者さんのためにあるということを実感した。

患者さんが地域での生活に興味を持てるように具体的な話をしよう心がけた。退院した後は安心して生活が送れるように様々な制度が用意されているので、そういった制度を活用しながら、デイケアに通う等すると良い事を話した。もっと地域生活の楽しさを感じてもらえるような話をしたら良いと思った。

〈あとかき〉私ごとですが、8月に育児休業から復帰しました。まだまだ子どもの夜泣きがあって、夜は1時間ごとに起きることもあります。そんな中、私は寝不足になると「お弁当を作らない」という手段に出ました。それぐらい楽をしたって良いですよ♪仕事でも育児でもどこかで息抜きが必要です。皆さんはちゃんと息抜き出来ていますか?? ペンネーム さく蔵

就労移行支援・就労継続支援B型事業

浅野社会復帰センター 定員・就労移行支援事業 15名 ・就労継続支援B型事業 20名

ジョブサポートセンター黒崎 定員・就労移行支援事業 20名

当事業所（施設）では、働く能力がありながら、就労の機会に恵まれなかった方々へ必要な訓練と指導を行い、一般就労実現への支援を行っております。原則として北九州市内在住で、精神科へ通院されており、働くことへ意欲を持っている方が対象となります。見学をご希望の方は、お電話にてお問い合わせ下さい。

浅野社会復帰センター TEL 093-531-3823
 ジョブサポートセンター黒崎 TEL 093-616-8100

地域活動支援センター（ひこうき雲）開館時間のお知らせ

平日（月～金）10時00分～18時00分

※土日祝日、お盆、年末年始（12月29日～1月3日まで）は閉館日です

原則として北九州市にお住まいで、精神科医療機関を利用されている方を対象とし、当施設と契約をしたうえで利用ができます。オープンスペースの利用のほか、日中活動を中心とした各サービスへの参加ができます。詳しくはスタッフへお問い合わせください。

TEL 093-513-2570

北九州精神保健福祉事業協会 北九州市立浅野社会復帰センター

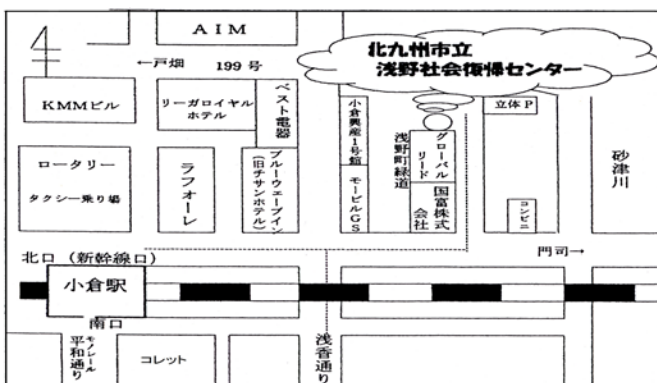
基本理念

障害があっても一人の人間として尊厳をもって住み慣れた地域で自立した生活ができるように、障害者本人とその家族・地域の方々と協働して支援し続けます。

また、地域の社会資源の一員として市民の方々の福祉の向上に努めます。

基本方針

- (1) 一人一人の個性や主体性を尊重し自己決定を基本とした支援を行う。
- (2) 障害者が抱える問題を共に考え、解決を図る中で信頼関係を醸成し、自立意欲を育成する。
- (3) 家族や関係機関・地域住民との緊密な連携による総合的アプローチを行う。
- (4) 障害者に対する社会の理解を深めるため、あらゆる機会を通じて情報発信する。
- (5) 可能な限り情報を開示して、事業運営の透明性を確保する。
- (6) 専門職として自己研鑽につとめる。



北九州市立浅野社会復帰センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目16-38

TEL 093-531-3823(代表)

093-513-2570(ひこうき雲)

FAX 093-513-2571

〈交通のご案内〉

- ・JR 小倉駅 北出口(新幹線側)より徒歩5分
- ・自動車・北九州市都市高速道路「小倉北」より3分
- ・最寄りのバス停
西鉄バス「浅野2丁目」停留所より徒歩3分

ジョブサポートセンター 黒崎

〒806-0033 北九州市八幡西区岡田町2-14

八幡バプテスト教会 敷地内

TEL 093-616-8100

FAX 093-616-8113

〈交通のご案内〉

- ・JR 黒崎駅 南出口より徒歩 10分
- ・自動車 北九州市都市高速道路「引野口」より6分
- ・最寄りのバス停
西鉄バス「熊手四ツ角」停留所より徒歩3分

